

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2024年12月10日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自 2024年2月1日 至 2024年4月30日）
【会社名】	萩原工業株式会社
【英訳名】	HAGIHARA INDUSTRIES INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 浅野 和志
【本店の所在の場所】	岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
【電話番号】	086（440）0860
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員事業支援部門長 藤田 学
【最寄りの連絡場所】	岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
【電話番号】	086（440）0860
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員事業支援部門長 藤田 学
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年6月12日に提出いたしました第62期第2四半期（自 2024年2月1日 至 2024年4月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績の状況

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

(5) 研究開発活動

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2 四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第2 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次		第61期 第2四半期連結 累計期間	第62期 第2四半期連結 累計期間	第61期
会計期間		自2022年11月1日 至2023年4月30日	自2023年11月1日 至2024年4月30日	自2022年11月1日 至2023年10月31日
売上高	(千円)	15,930,230	16,374,002	31,245,163
経常利益	(千円)	1,091,081	<u>1,405,056</u>	2,250,739
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(千円)	2,246,307	<u>960,179</u>	3,118,160
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,919,206	<u>1,061,992</u>	<u>2,961,665</u>
純資産額	(千円)	27,722,462	<u>28,642,218</u>	<u>27,901,724</u>
総資産額	(千円)	41,363,008	<u>42,628,001</u>	<u>42,432,902</u>
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	160.63	<u>70.01</u>	223.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	—	—	—
自己資本比率	(%)	66.9	<u>67.0</u>	<u>65.6</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,206,726	2,860,419	4,579,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△700,684	△1,834,181	△4,653,905
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△435,958	△906,706	1,042,113
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	5,614,556	5,537,427	5,397,530

回次		第61期 第2四半期連結 会計期間	第62期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自2023年2月1日 至2023年4月30日	自2024年2月1日 至2024年4月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	35.42	<u>39.29</u>

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

(省略)

(訂正後)

回次	第61期 第2四半期連結 累計期間	第62期 第2四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自2022年11月1日 至2023年4月30日	自2023年11月1日 至2024年4月30日	自2022年11月1日 至2023年10月31日
売上高 (千円)	15,930,230	16,374,002	31,245,163
経常利益 (千円)	1,091,081	<u>1,432,908</u>	2,250,739
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	2,246,307	<u>980,482</u>	3,118,160
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,919,206	<u>1,059,276</u>	<u>3,182,175</u>
純資産額 (千円)	27,722,462	<u>28,860,012</u>	<u>28,122,234</u>
総資産額 (千円)	41,363,008	<u>42,853,683</u>	<u>42,651,695</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	160.63	<u>71.49</u>	223.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	66.9	<u>67.1</u>	<u>65.8</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,206,726	2,860,419	4,579,834
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△700,684	△1,834,181	△4,653,905
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△435,958	△906,706	1,042,113
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	5,614,556	5,537,427	5,397,530

回次	第61期 第2四半期連結 会計期間	第62期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2023年2月1日 至2023年4月30日	自2024年2月1日 至2024年4月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	35.42	<u>40.02</u>

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

(省略)

第2【事業の状況】

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(訂正前)

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、値上げや円安の効果により好業績となった会社があった一方で、2024年1～3月期の国内総生産は年率マイナス2.0%と2四半期ぶりのマイナス成長となり、記録的な円安も一因となった物価の上昇も継続、また、ロシアとウクライナ及びパレスチナとイスラエルの紛争も原油高や海上輸送の混乱といった経済活動に大きな影響を及ぼし、不安材料が残る状況にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、販売単価の管理、原材料の見直し及び生産効率の改善等、収益性を重視した活動に注力してまいりました。

その結果、売上高163億74百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益12億71百万円（前年同四半期比25.8%増）、経常利益14億5百万円（前年同四半期比28.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億60百万円（前年同四半期比57.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく減少している理由は、前年度に当社連結子会社の青島萩原工業有限公司が土地収用に伴い受領した収用補償金20億22百万円を特別利益に計上したためであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

〔合成樹脂加工製品事業〕

合成樹脂加工製品事業におきましては、第1四半期と同様、資材価格の高騰に起因したユーザーの買い控え等により、特に農業資材向けや一般資材向け原糸の需要が依然として低迷いたしました。一方、粘着テープ原反は災害対策需要や住宅向け用途が増えたことで好調に推移、ブルーシートは能登半島地震の復興需要に優先して対応してまいりました。また、円安を背景に輸出案件が好調に推移し、特に包装資材用途のメルタックが大幅な増収となり、コンクリート補強繊維「バルチップ」も競争が激化する海外市場の中で増収となりました。インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、主要製品であるバルチップ、低迷していたフレキシブルコンテナバッグの生産量増加により増収、国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、買い控え等の影響で減収となりましたが、価格転嫁や生産性改善等により増益となりました。

その結果、売上高134億73百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益10億46百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

〔機械製品事業〕

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器において、国内市場ではラベル関連など順調に販売が推移いたしました。海外市場では中国市場におけるリチウムイオン電池関連の市況が低調となり、今後も厳しい状況が予測されております。一方、世界的な脱炭素の流れを背景にマテリアルリサイクルへの取り組みが国内大手企業でも増えており、ペットボトルの水平リサイクルに欠かせないスクリーンチェンジャーの販売が増加し、リサイクル関連製品の売上が大幅に拡大いたしました。引き続き、マテリアルリサイクル関連の常設展示機を最新化し、各業界の大手企業との協業を積極的に推進してまいります。

その結果、売上高29億0百万円（前年同四半期比21.9%増）、営業利益2億25百万円（前年同四半期比130.0%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は426億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億95百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は224億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億79百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が4億88百万円、その他が4億62百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は201億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億75百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が12億69百万円増加したこと等によります。

負債の部では流動負債は90億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億12百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が1億49百万円減少したこと等によります。

固定負債は49億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億33百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が4億5百万円減少したこと等によります。

純資産の部は286億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億40百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は67.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億39百万円増加し55億37百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は28億60百万円（前年同四半期比29.6%増）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益14億3百万円、減価償却費8億25百万円、売上債権の減少額3億87百万円を主とする資金の増加と法人税等の支払額3億92百万円を主とする資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は18億34百万円（前年同四半期比161.8%増）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出18億24百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は9億6百万円（前年同四半期比108.0%増）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出3億26百万円及び配当金の支払額3億45百万円を主とするものです。

（省略）

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億71百万円（前年同四半期は3億22百万円）であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(訂正後)

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、値上げや円安の効果により好業績となった会社があった一方で、2024年1～3月期の国内総生産は年率マイナス2.0%と2四半期ぶりのマイナス成長となり、記録的な円安も一因となった物価の上昇も継続、また、ロシアとウクライナ及びパレスチナとイスラエルの紛争も原油高や海上輸送の混乱といった経済活動に大きな影響を及ぼし、不安材料が残る状況にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、販売単価の管理、原材料の見直し及び生産効率の改善等、収益性を重視した活動に注力してまいりました。

その結果、売上高163億74百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益12億99百万円（前年同四半期比28.6%増）、経常利益14億32百万円（前年同四半期比31.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億80百万円（前年同四半期比56.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく減少している理由は、前年度に当社連結子会社の青島萩原工業有限公司が土地収用に伴い受領した収用補償金20億22百万円を特別利益に計上したためであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、第1四半期と同様、資材価格の高騰に起因したユーザーの買い控え等により、特に農業資材向けや一般資材向け原系の需要が依然として低迷いたしました。一方、粘着テープ原反は災害対策需要や住宅向け用途が増えたことで好調に推移、ブルーシートは能登半島地震の復興需要に優先して対応してまいりました。また、円安を背景に輸出案件が好調に推移し、特に包装資材用途のメルタックが大幅な増収となり、コンクリート補強繊維「バルチップ」も競争が激化する海外市場の中で増収となりました。インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、主要製品であるバルチップ、低迷していたフレキシブルコンテナバッグの生産量増加により増収、国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、買い控え等の影響で減収となりましたが、価格転嫁や生産性改善等により増益となりました。

その結果、売上高134億73百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益10億68百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器において、国内市場ではラベル関連など順調に販売が推移いたしました。海外市場では中国市場におけるリチウムイオン電池関連の市況が低調となり、今後も厳しい状況が予測されております。一方、世界的な脱炭素の流れを背景にマテリアルリサイクルへの取り組みが国内大手企業でも増えており、ペットボトルの水平リサイクルに欠かせないスクリーンチェンジャーの販売が増加し、リサイクル関連製品の売上が大幅に拡大いたしました。引き続き、マテリアルリサイクル関連の常設展示機を最新化し、各業界の大手企業との協業を積極的に推進してまいります。

その結果、売上高29億0百万円（前年同四半期比21.9%増）、営業利益2億30百万円（前年同四半期比135.5%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は428億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は224億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億84百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が4億88百万円、その他が4億62百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は203億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億86百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が12億69百万円増加したこと等によります。

負債の部では流動負債は90億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が1億49百万円減少したこと等によります。

固定負債は49億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億31百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が4億5百万円減少したこと等によります。

純資産の部は288億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億37百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は67.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億39百万円増加し55億37百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は28億60百万円（前年同四半期比29.6%増）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益14億31百万円、減価償却費8億25百万円、売上債権の減少額3億87百万円を主とする資金の増加と法人税等の支払額3億92百万円を主とする資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は18億34百万円（前年同四半期比161.8%増）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出18億24百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は9億6百万円（前年同四半期比108.0%増）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出3億26百万円及び配当金の支払額3億45百万円を主とするものです。

（省略）

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億70百万円（前年同四半期は3億22百万円）であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,138,450	6,279,827
受取手形及び売掛金	※ 7,386,760	※ 6,898,194
電子記録債権	※ 1,267,164	※ 1,371,284
商品及び製品	2,804,960	<u>2,551,415</u>
仕掛品	3,169,921	<u>3,292,323</u>
原材料及び貯蔵品	1,511,841	1,371,746
その他	1,213,658	750,903
貸倒引当金	△17,479	△20,380
流動資産合計	<u>23,475,279</u>	<u>22,495,316</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,546,956	7,468,165
機械装置及び運搬具（純額）	3,715,395	3,682,166
工具、器具及び備品（純額）	395,262	435,935
土地	3,853,106	3,851,502
建設仮勘定	1,295,981	2,565,224
有形固定資産合計	<u>16,806,703</u>	<u>18,002,994</u>
無形固定資産		
のれん	108,333	95,833
その他	388,224	384,640
無形固定資産合計	<u>496,557</u>	<u>480,473</u>
投資その他の資産		
保険積立金	389,139	377,599
その他	<u>1,265,223</u>	<u>1,271,617</u>
投資その他の資産合計	<u>1,654,362</u>	<u>1,649,217</u>
固定資産合計	<u>18,957,623</u>	<u>20,132,685</u>
資産合計	<u>42,432,902</u>	<u>42,628,001</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,983	1,787,263
電子記録債務	※ 1,675,753	※ 1,634,828
短期借入金	2,314,843	2,165,494
未払法人税等	428,705	<u>427,512</u>
賞与引当金	655,336	602,471
製品保証引当金	36,909	40,139
その他	2,325,977	2,400,524
流動負債合計	<u>9,170,509</u>	<u>9,058,234</u>
固定負債		
長期借入金	4,374,922	3,968,935
退職給付に係る負債	<u>756,001</u>	712,017
その他	229,745	246,596
固定負債合計	<u>5,360,668</u>	<u>4,927,549</u>
負債合計	<u>14,531,178</u>	<u>13,985,783</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,490,082	1,490,082
利益剰余金	24,912,660	<u>25,527,192</u>
自己株式	△1,501,196	△1,501,196
株主資本合計	<u>26,679,932</u>	<u>27,294,464</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,683	48,873
繰延ヘッジ損益	3,695	△1,732
為替換算調整勘定	1,237,590	1,287,985
退職給付に係る調整累計額	<u>△130,342</u>	<u>△87,600</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>1,145,626</u>	<u>1,247,525</u>
新株予約権	52,322	76,471
非支配株主持分	23,842	23,756
純資産合計	<u>27,901,724</u>	<u>28,642,218</u>
負債純資産合計	<u>42,432,902</u>	<u>42,628,001</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,138,450	6,279,827
受取手形及び売掛金	※ 7,386,760	※ 6,898,194
電子記録債権	※ 1,267,164	※ 1,371,284
商品及び製品	2,804,960	<u>2,548,986</u>
仕掛品	3,169,921	<u>3,290,400</u>
原材料及び貯蔵品	1,511,841	1,371,746
その他	1,213,658	750,903
貸倒引当金	△17,479	△20,380
流動資産合計	<u>23,475,279</u>	<u>22,490,964</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,546,956	7,468,165
機械装置及び運搬具（純額）	3,715,395	3,682,166
工具、器具及び備品（純額）	395,262	435,935
土地	3,853,106	3,851,502
建設仮勘定	1,295,981	2,565,224
有形固定資産合計	<u>16,806,703</u>	<u>18,002,994</u>
無形固定資産		
のれん	108,333	95,833
その他	388,224	384,640
無形固定資産合計	<u>496,557</u>	<u>480,473</u>
投資その他の資産		
保険積立金	389,139	377,599
その他	<u>1,484,016</u>	<u>1,501,651</u>
投資その他の資産合計	<u>1,873,156</u>	<u>1,879,251</u>
固定資産合計	<u>19,176,416</u>	<u>20,362,719</u>
資産合計	<u>42,651,695</u>	<u>42,853,683</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,983	1,787,263
電子記録債務	※ 1,675,753	※ 1,634,828
短期借入金	2,314,843	2,165,494
未払法人税等	428,705	435,399
賞与引当金	655,336	602,471
製品保証引当金	36,909	40,139
その他	2,325,977	2,400,524
流動負債合計	9,170,509	9,066,121
固定負債		
長期借入金	4,374,922	3,968,935
退職給付に係る負債	754,284	712,017
その他	229,745	246,596
固定負債合計	5,358,951	4,927,549
負債合計	14,529,461	13,993,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,490,082	1,490,082
利益剰余金	24,912,660	25,547,495
自己株式	△1,501,196	△1,501,196
株主資本合計	26,679,932	27,314,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,683	48,873
繰延ヘッジ損益	3,695	△1,732
為替換算調整勘定	1,237,590	1,287,985
退職給付に係る調整累計額	90,167	109,891
その他の包括利益累計額合計	1,366,137	1,445,017
新株予約権	52,322	76,471
非支配株主持分	23,842	23,756
純資産合計	28,122,234	28,860,012
負債純資産合計	42,651,695	42,853,683

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	15,930,230	16,374,002
売上原価	11,750,565	11,788,614
売上総利益	4,179,664	4,585,388
販売費及び一般管理費	※ 3,168,805	※ 3,313,741
営業利益	1,010,859	1,271,647
営業外収益		
受取利息	16,094	11,665
受取配当金	1,631	2,125
受取保険金	42,480	19,382
為替差益	—	65,215
試作品等売却収入	16,990	15,818
その他	66,385	56,362
営業外収益合計	143,582	170,569
営業外費用		
支払利息	26,695	27,613
為替差損	32,006	—
その他	4,658	9,546
営業外費用合計	63,360	37,160
経常利益	1,091,081	1,405,056
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,860
収用補償金	2,022,865	—
特別利益合計	2,022,865	7,860
特別損失		
固定資産売却損	—	2,415
固定資産除却損	—	6,749
特別損失合計	—	9,164
税金等調整前四半期純利益	3,113,947	1,403,752
法人税等	864,458	440,407
四半期純利益	2,249,488	963,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,180	3,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,246,307	960,179

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	15,930,230	16,374,002
売上原価	11,750,565	<u>11,770,944</u>
売上総利益	4,179,664	<u>4,603,057</u>
販売費及び一般管理費	※ 3,168,805	※ <u>3,303,557</u>
営業利益	1,010,859	<u>1,299,500</u>
営業外収益		
受取利息	16,094	11,665
受取配当金	1,631	2,125
受取保険金	42,480	19,382
為替差益	—	65,215
試作品等売却収入	16,990	15,818
その他	66,385	56,362
営業外収益合計	143,582	170,569
営業外費用		
支払利息	26,695	27,613
為替差損	32,006	—
その他	4,658	9,546
営業外費用合計	63,360	37,160
経常利益	1,091,081	<u>1,432,908</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,860
収用補償金	2,022,865	—
特別利益合計	2,022,865	7,860
特別損失		
固定資産売却損	—	2,415
固定資産除却損	—	6,749
特別損失合計	—	9,164
税金等調整前四半期純利益	3,113,947	<u>1,431,604</u>
法人税等	864,458	<u>447,958</u>
四半期純利益	2,249,488	<u>983,646</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,180	3,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,246,307	<u>980,482</u>

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	2,249,488	963,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,642	14,189
繰延ヘッジ損益	△2,265	△5,427
為替換算調整勘定	△313,295	47,144
退職給付に係る調整額	△19,363	42,742
その他の包括利益合計	△330,282	98,648
四半期包括利益	1,919,206	1,061,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,914,712	1,062,078
非支配株主に係る四半期包括利益	4,493	△85

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	2,249,488	983,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,642	14,189
繰延ヘッジ損益	△2,265	△5,427
為替換算調整勘定	△313,295	47,144
退職給付に係る調整額	△19,363	19,723
その他の包括利益合計	△330,282	75,629
四半期包括利益	1,919,206	1,059,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,914,712	1,059,362
非支配株主に係る四半期包括利益	4,493	△85

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,113,947	<u>1,403,752</u>
減価償却費	660,243	825,048
収用補償金	△2,022,865	—
のれん償却額	48,047	12,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,669	2,900
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△108,213	<u>18,035</u>
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△69,360	8,748
役員退職慰労金の支払額	△169,539	—
受取利息及び受取配当金	△17,725	△13,790
支払利息	26,695	27,613
売上債権の増減額 (△は増加)	△471,641	387,862
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,547	<u>294,925</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	243,117	145,898
その他	△456,695	<u>154,027</u>
小計	776,129	3,267,521
利息及び配当金の受取額	15,795	14,753
利息の支払額	△30,986	△29,444
法人税等の支払額	△598,494	△392,411
収用補償金の受取額	2,022,865	—
補助金の受取額	21,417	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,206,726	2,860,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△587,731	△1,824,965
有形固定資産の売却による収入	694	5,191
投資有価証券の売却による収入	35	16,892
保険積立金の増減額 (△は増加)	20,264	11,539
その他	△133,947	△42,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700,684	△1,834,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△80,957	△235,287
長期借入金の返済による支出	△101,630	△326,095
自己株式の取得による支出	△75	—
配当金の支払額	△253,295	△345,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,958	△906,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128,817	20,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	941,265	139,897
現金及び現金同等物の期首残高	4,673,291	5,397,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 5,614,556	※ 5,537,427

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,113,947	1,431,604
減価償却費	660,243	825,048
収用補償金	△2,022,865	—
のれん償却額	48,047	12,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,669	2,900
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△108,213	△14,507
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△69,360	8,748
役員退職慰労金の支払額	△169,539	—
受取利息及び受取配当金	△17,725	△13,790
支払利息	26,695	27,613
売上債権の増減額 (△は増加)	△471,641	387,862
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,547	299,277
仕入債務の増減額 (△は減少)	243,117	145,898
その他	△456,695	154,365
小計	776,129	3,267,521
利息及び配当金の受取額	15,795	14,753
利息の支払額	△30,986	△29,444
法人税等の支払額	△598,494	△392,411
収用補償金の受取額	2,022,865	—
補助金の受取額	21,417	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,206,726	2,860,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△587,731	△1,824,965
有形固定資産の売却による収入	694	5,191
投資有価証券の売却による収入	35	16,892
保険積立金の増減額 (△は増加)	20,264	11,539
その他	△133,947	△42,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700,684	△1,834,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△80,957	△235,287
長期借入金の返済による支出	△101,630	△326,095
自己株式の取得による支出	△75	—
配当金の支払額	△253,295	△345,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,958	△906,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128,817	20,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	941,265	139,897
現金及び現金同等物の期首残高	4,673,291	5,397,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 5,614,556	※ 5,537,427

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な項目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
運賃及び荷造費	513,482千円	452,222千円
貸倒引当金繰入額	4,353	7,998
給料及び賞与	682,610	759,986
賞与引当金繰入額	170,784	145,294
退職給付費用	22,221	<u>22,149</u>
役員株式報酬引当金繰入額	11,874	8,748

(訂正後)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な項目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
運賃及び荷造費	513,482千円	452,222千円
貸倒引当金繰入額	4,353	7,998
給料及び賞与	682,610	759,986
賞与引当金繰入額	170,784	145,294
退職給付費用	22,221	<u>12,801</u>
役員株式報酬引当金繰入額	11,874	8,748

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）

(訂正前)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	9,060,802	2,545,292	11,606,094	—	11,606,094
アジア	1,670,436	353,949	2,024,386	—	2,024,386
北アメリカ	1,148,140	936	1,149,077	—	1,149,077
南アメリカ	1,005,531	—	1,005,531	—	1,005,531
ヨーロッパ	314,945	539	315,485	—	315,485
オセアニア	273,427	—	273,427	—	273,427
アフリカ	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	13,473,284	2,900,718	16,374,002	—	16,374,002
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,473,284	2,900,718	16,374,002	—	16,374,002
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	277,018	277,018	△277,018	—
計	13,473,284	3,177,736	16,651,020	△277,018	16,374,002
セグメント利益	<u>1,046,103</u>	<u>225,543</u>	<u>1,271,647</u>	—	<u>1,271,647</u>

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(訂正後)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	9,060,802	2,545,292	11,606,094	—	11,606,094
アジア	1,670,436	353,949	2,024,386	—	2,024,386
北アメリカ	1,148,140	936	1,149,077	—	1,149,077
南アメリカ	1,005,531	—	1,005,531	—	1,005,531
ヨーロッパ	314,945	539	315,485	—	315,485
オセアニア	273,427	—	273,427	—	273,427
アフリカ	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	13,473,284	2,900,718	16,374,002	—	16,374,002
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,473,284	2,900,718	16,374,002	—	16,374,002
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	277,018	277,018	△277,018	—
計	13,473,284	3,177,736	16,651,020	△277,018	16,374,002
セグメント利益	<u>1,068,613</u>	<u>230,886</u>	<u>1,299,500</u>	—	<u>1,299,500</u>

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
1株当たり四半期純利益	160円63銭	70円01銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,246,307	960,179
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,246,307	960,179
普通株式の期中平均株式数(株)	13,984,600	13,714,427
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(省略)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
1株当たり四半期純利益	160円63銭	71円49銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,246,307	980,482
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,246,307	980,482
普通株式の期中平均株式数(株)	13,984,600	13,714,427
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(省略)